

永頼会設立 50 周年記念

平成 26 年 11 月に永頼会設立 50 年を迎えます。この節目にあたり、松山市民病院の開院当時を知る元職員の方にお話をお伺いし、これまでの歴史を振り返ります。今回は第 3 代事務長の香川省氏に、松山市民病院の礎となった出来事などを語っていただきました。



草創期を語る Vol.1

対談者： 元事務長 香川 省 (写真右)
院長 山本 祐司 (写真中央)
事務長 花本 雄二 (写真左)



往事は早や荒々として — 香川省氏を訪ねて —



香川省氏は大正 12 年倉敷生まれで(本籍広島)、広島で被爆した一家は、昭和 21 年松山へ転居された。その後愛媛県職員を経て昭和 35 年に松山市民病院に入職された。

当時、市民による、市民のための「松山市民病院」は、昭和 31 年 6 月から大手町 2 丁目の一角に、木造 2 階建ての 20 床にて生活協同組合により運営されていた。用務員が薪割をしてそれを燃料に病院食を調理提供していた時代であった。

一方、昭和 32 年 8 月に愛生(結核)分院(80 床)が発足し、岡山大学平木内科より橋本誠志先生が赴任、愛媛新聞社の裏手で運営されていた。昭和 36 年 8 月に本院と分院を合併し、安価で譲ってもらった南向かいの井関農機株式会社の土地に、3 階建て 135 床の鉄筋コンクリート造の診療棟・病棟が建築され、産婦人科も新設された。

その後、上に 1 階増築して 4 階建てとなり、さらに東側に 5 階建てが増築された。後に建てられる新病棟が「A」病棟、こちらは「B」病棟と呼ばれるようになった。木造 2 階の病舎は医局・事務局などが入る管理棟として使用するようになった。

その頃、岡山大学医学部第 2 内科の平木潔教授が病院に来訪され、財団法人にした方が医師を派遣しやすいとの助言を受けた。井関農機株式会社専務の薬師寺眞氏が声をかけられ、地元財界の主だった方々や医師が发起人・理事になり、昭和 39 年 11 月に財団法人永頼会が設立された。ちょうど東京オリンピックの頃である。

薬師寺氏はその初代理事長となり、儒教の古典「書経」からの一節「萬世永頼」

を揮毫され、永頼会の由来と設立精神を職員に説かれた。やがて会長を務められたが、理事は実業界の月星ゴム株式会社の青木明氏や労働界の岡本博氏(県会議員、永頼会常任理事)らが務められ、要となって活動された。

次の中西恒心理事長・病院長時代の昭和 42 年に、岡本常任理事の尽力により、財団法人永頼会松山中央乳児保育園が誕生した。また昭和 44 年には、松山ホスピタルサービス株式会社が設立され、病院の食堂・売店業務を扱うことになった。

松山市民病院の初代事務長は宇都宮周策氏、2 代目は鈴木武氏(愛生分院より)、そして昭和 42 年、3 代目の香川省氏に引き継がれることとなった。

昭和 49 年 7 月には、三番町通りに地下 1 階、地上 7 階建ての鉄筋コンクリート造の新病棟が増築され、503 床の総合病院となった。香川氏はそれに至るまでの逸話を語られた。

当時、新築予定地の西側にあった高松鉄道郵便通送宿舍の土地取得をめぐって、香川氏は岡本常任理事に同道して東京の郵政省に赴いた。本省で対応した局長(後に事務次官)は、大学時代に岡本氏と卓球でよく対戦した知己の相手であった(片や東京大学、片や早稲田大学)。岡本氏を見るや否や、「おお、君か」と叫び、奇遇に驚くだけでなく、快く郵政の土地を譲ってもらい、南棟が三番町通りへ進出できるようになったそうである。

管理棟になっていた大手町の木造病舎は、昭和 53 年 12 月に地下 1 階地上 5 階建ての鉄筋コンクリート造に建替えら

れ、「永頼会館」と命名された。この後、市道をはさんだ病棟との連絡橋設置では、市議会や行政への働きかけや許可手続きに東奔西走された。

また、このことで岡本常任理事と一緒に、当時の安倍晋太郎官房長官に直接お願いをしたこと、高額な GE の第 3 世代 CT や体外衝撃波破碎装置の購入で業者との交渉に苦労したこと、当時金利が高かったので銀行から少しでも有利な借り入れをと、数多くの折衝をしたことなど、表には出ない話を次々に思い出され、感極まって語られた。

改めて、財団法人永頼会の 50 年の歴史を振り返り、退職後別の人生を歩んだ人びと、悠々自適の人びと、そして職を全うされず逝かれた多くの人びとに想いを馳せた。

香川氏は、『今春第 1 期工事が完成した新南病棟が、三番町筋に「航空母艦のように浮かぶ姿」は、まさに「萬世永頼」— 市民のために存在し続け、永遠に頼りにされる— 永頼会設立精神の理想に込め実現されたものである』と語られた。そして、これからも地域社会に貢献し、発展し続ける永頼会たらんことを切に望まれた。(文：山本祐司)

